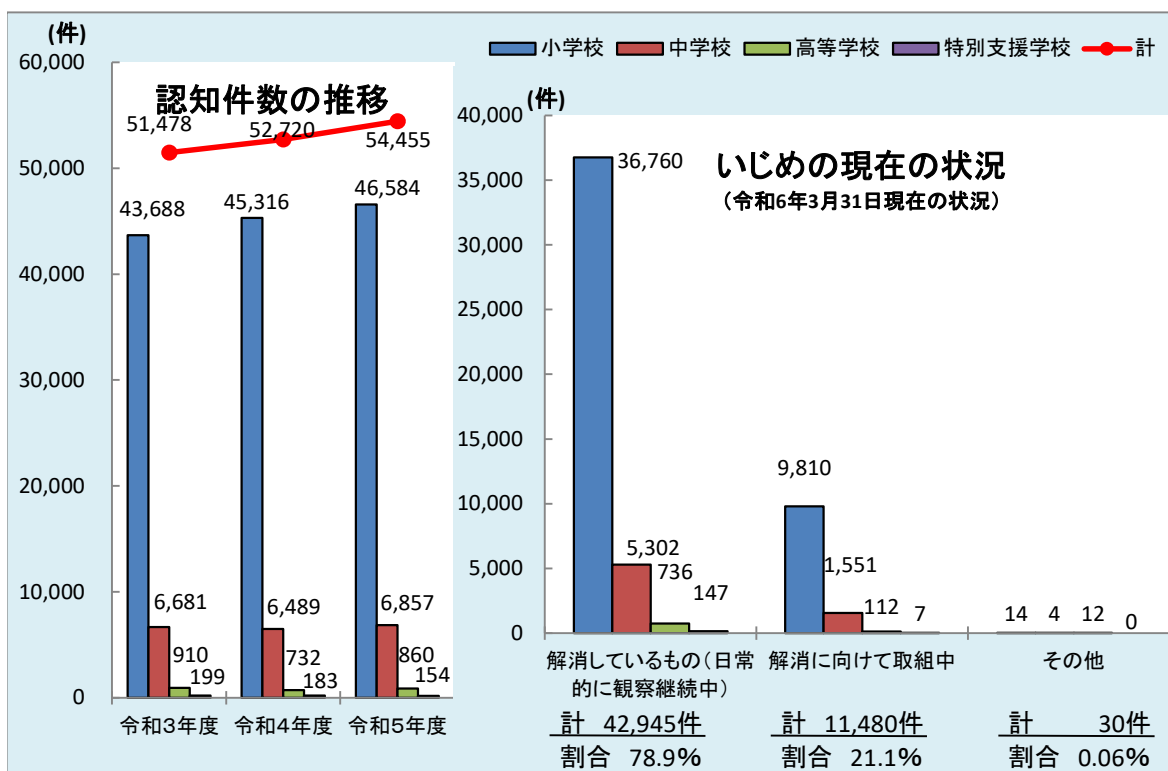


令和5年度 公立小・中・高・特支のいじめの状況等(千葉県)

1 いじめの認知状況等

	区 分	公立学校 総数	うち認知校数及び 割合(%)		認知件数	増減[%]	一校平均 件数
小学校	令和3年度	755	731	96.8%	43,688	9,482【27.7%】	57.9
	令和4年度	751	737	98.1%	45,316	1,628【3.7%】	60.3
	令和5年度	748	738	98.7%	46,584	1,268【2.8%】	62.3
中学校	令和3年度	367	351	95.6%	6,681	1,537【29.9%】	18.2
	令和4年度	368	353	95.9%	6,489	△192【△2.9%】	17.6
	令和5年度	367	356	97.0%	6,857	368【5.7%】	18.7
高等学校	令和3年度	144	118	81.9%	910	270【42.2%】	6.3
	令和4年度	143	125	87.4%	732	△178【△19.6%】	5.1
	令和5年度	143	123	86.0%	860	128【17.5%】	6.0
特別 学校 支援	令和3年度	43	27	62.8%	199	△41【△17.1%】	4.6
	令和4年度	44	25	56.8%	183	△16【△8.0%】	4.2
	令和5年度	44	21	47.7%	154	△29【△15.8%】	3.5
計	令和3年度	1,309	1,227	93.7%	51,478	11,248【28.0%】	39.3
	令和4年度	1,306	1,240	94.9%	52,720	1,242【2.4%】	40.4
	令和5年度	1,302	1,238	95.1%	54,455	1,735【3.3%】	41.8

※高等学校の「公立学校総数」は、県立、市立の全日制126校、定時制16校、通信制1校の合計である。



※いじめの定義(平成25年度一部改訂)

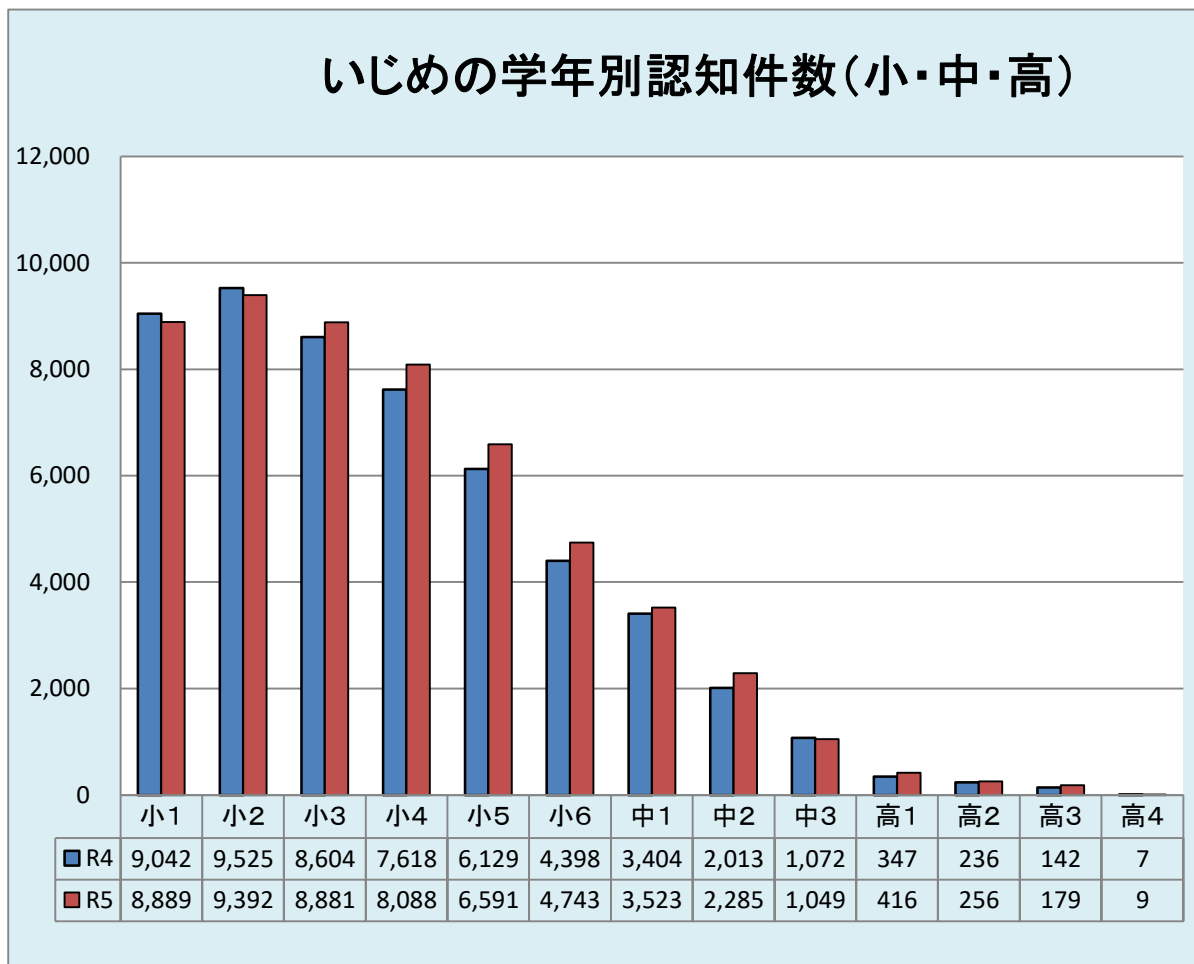
本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に行うものとする。

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

2 いじめの認知件数の学年別内訳

(単位:件)

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	
小学校	8,889	9,392	8,881	8,088	6,591	4,743	46,584	
中学校	3,523	2,285	1,049	—	—	—	6,857	
高等学校	416	256	179	9	—	—	860	
特別支援学校	小学部	13	9	15	11	2	7	57
	中学部	6	12	4	—	—	—	22
	高等部	43	17	15	—	—	—	75
特別支援学校計	62	38	34	11	2	7	154	

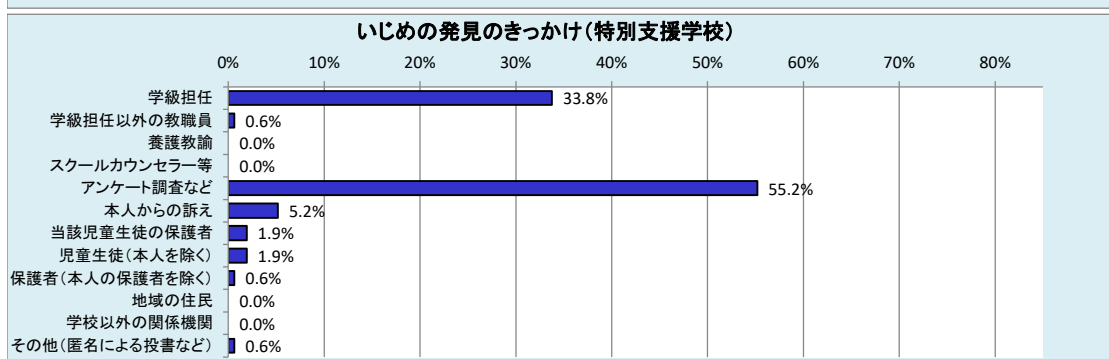
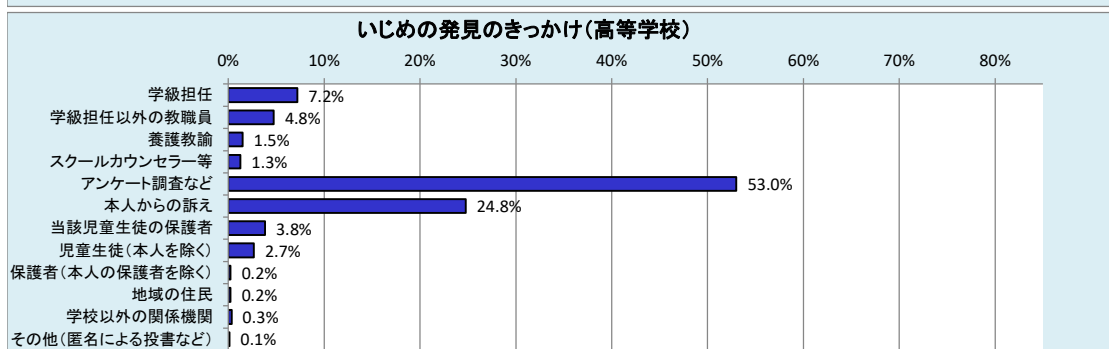
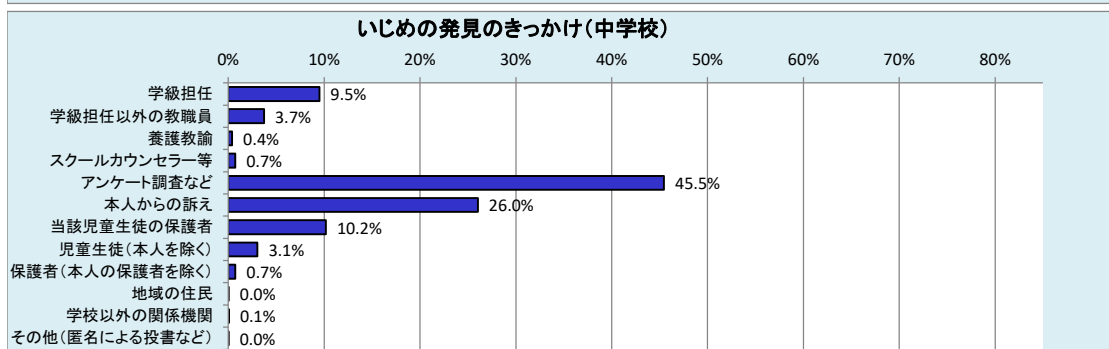
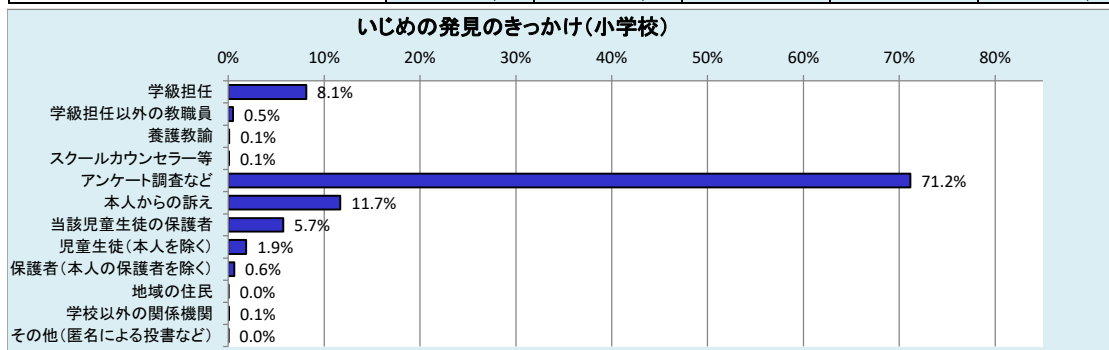


(注)調査では、単位制の高等学校の1年次生は「高1」、2年次生は「高2」、3年次生は「高3」、4年次生以上は「高4」としてそれぞれ計上している。

3 いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計	
学校の教職員等が発見	37,255	4,104	583	138	42,080	
内訳	学級担任	3,789	653	62	52	4,556
	学級担任以外の教職員	240	256	41	1	538
	養護教諭	45	28	13	0	86
	スクールカウンセラー等	30	50	11	0	91
	アンケート調査など	33,151	3,117	456	85	36,809
学校の教職員以外からの情報により発見	9,329	2,753	277	16	12,375	
内訳	本人からの訴え	5,445	1,785	213	8	7,451
	当該児童生徒の保護者	2,668	698	33	3	3,402
	児童生徒(本人を除く)	877	210	23	3	1,113
	保護者(本人の保護者を除く)	288	51	2	1	342
	地域の住民	13	3	2	0	18
	学校以外の関係機関	31	4	3	0	38
	その他(匿名による投書など)	7	2	1	1	11
	計	46,584	6,857	860	154	54,455



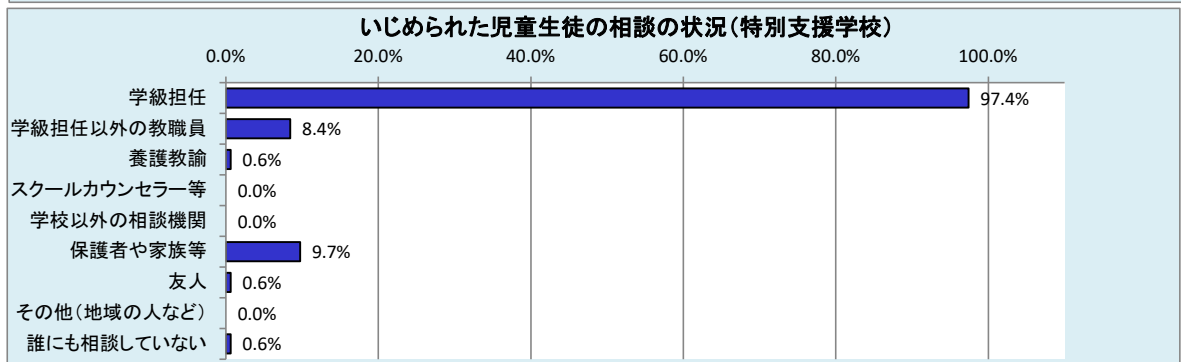
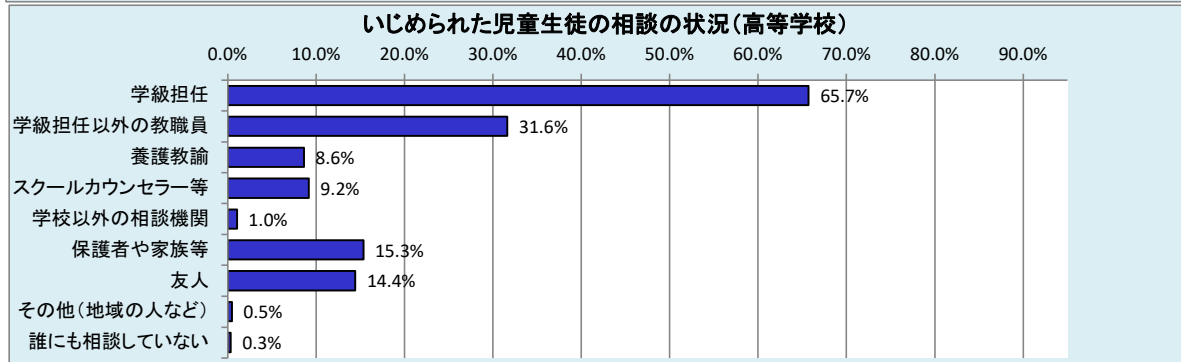
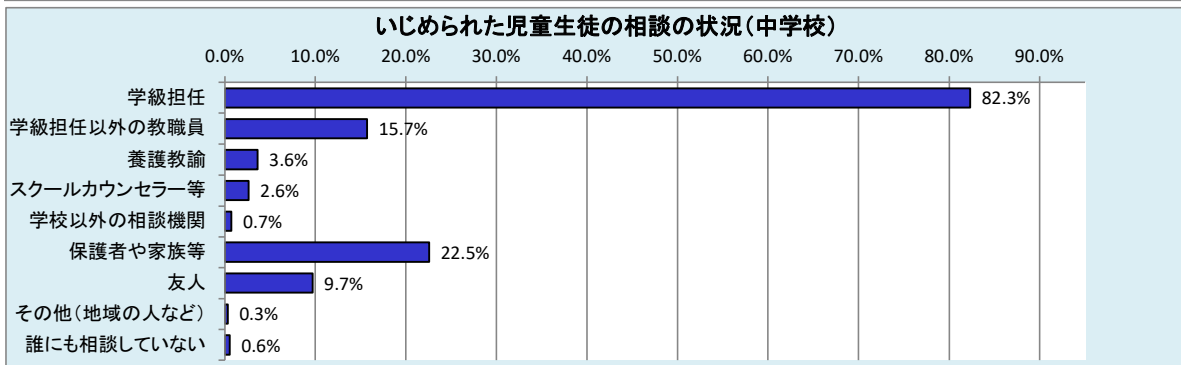
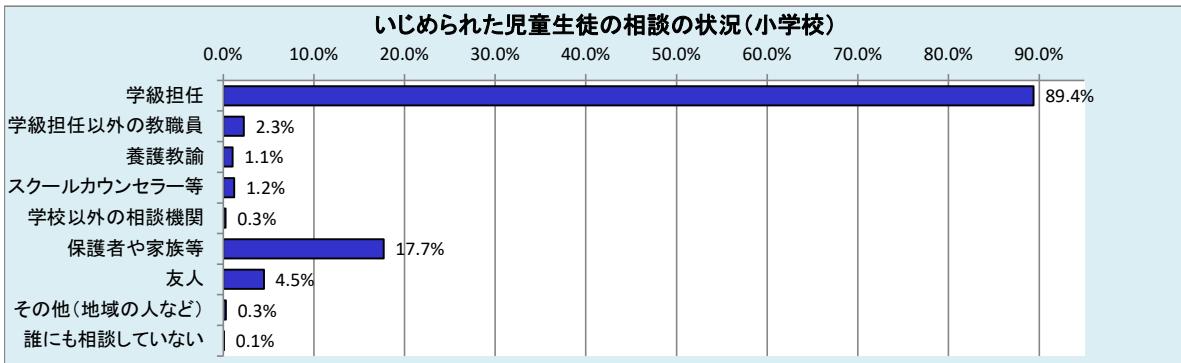
※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。
(認知件数: 小学校46,584件, 中学校6,857件, 高等学校860件, 特別支援学校154件)

4 いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任	41,642	5,644	565	150	48,001
学級担任以外の教職員	1,060	1,078	272	13	2,423
養護教諭	490	248	74	1	813
スクールカウンセラー等	568	180	79	0	827
学校以外の相談機関	121	51	9	0	181
保護者や家族等	8,251	1,546	132	15	9,944
友人	2,088	665	124	1	2,878
その他(地域の人など)	141	21	4	0	166
誰にも相談していない	36	38	3	1	78
計	54,397	9,471	1,262	181	65,311

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

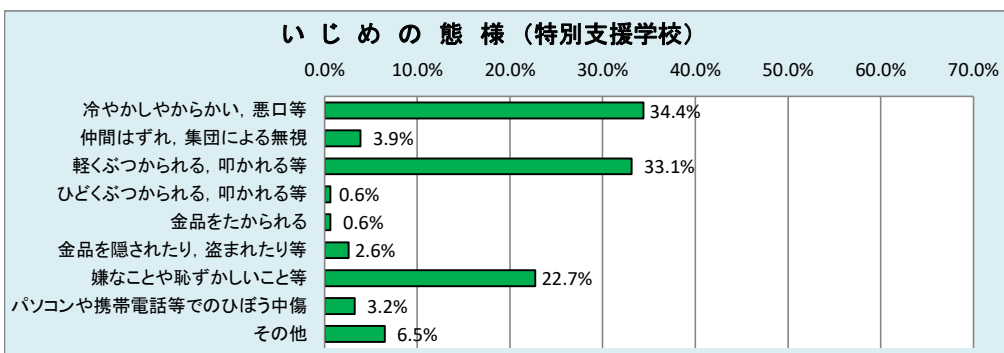
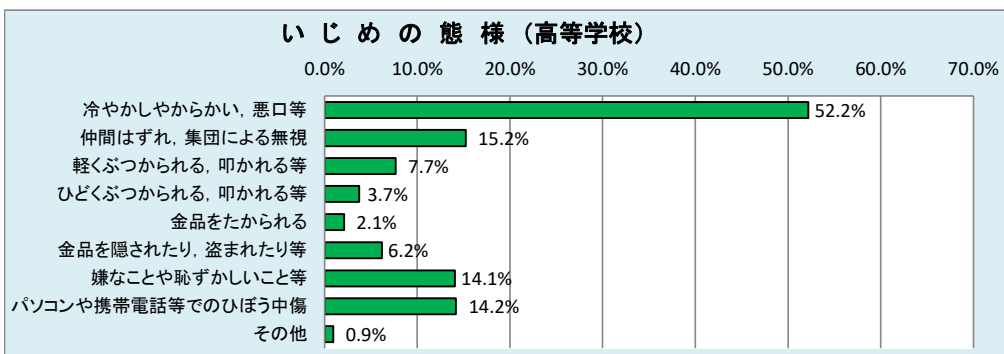
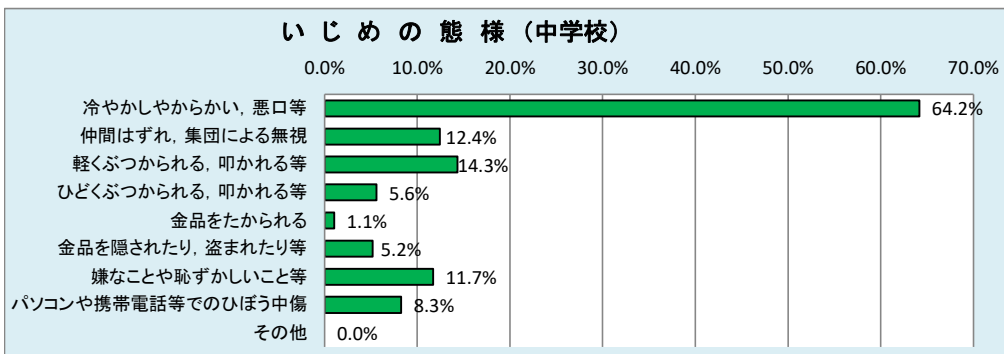
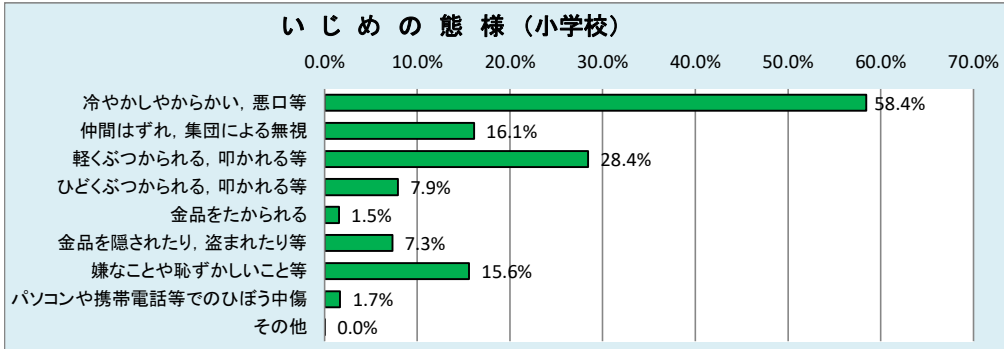
(認知件数: 小学校46, 584件, 中学校6, 857件, 高等学校860件, 特別支援学校154件)

5 いじめの態様

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしやからかい, 悪口等	27,219	4,401	449	53	32,122
仲間はずれ, 集団による無視	7,504	851	131	6	8,492
軽くぶつかられる, 叩かれる等	13,239	983	66	51	14,339
ひどくぶつかられる, 叩かれる等	3,677	385	32	1	4,095
金品をたかられる	713	72	18	1	804
金品を隠されたり, 盗まれたりする等	3,406	355	53	4	3,818
嫌なことや恥ずかしいことをされる等	7,258	805	121	35	8,219
パソコンや携帯電話等でのひぼう中傷	787	568	122	5	1,482
その他	9	0	8	10	27
計	63,812	8,420	1,000	166	73,398

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

(認知件数: 小学校46, 584件, 中学校6, 857件, 高等学校860件, 特別支援学校154件)